

【高橋館長からのメッセージ】

皆様こんにちは。10月は台風24号の猛威にさらわれた夢の島公園となりました。一方で夢の島熱帯植物館は、都民の日の無料開館やオータムフェスタなど、多くのお客様にお越しいただきました。台風による倒木や公園内の各改修工事により、植物館までの道のりにご面倒をお掛けしました。御来館して頂いた皆様、誠にありがとうございます。

さて、秋の行楽シーズンとなりました。植物館は小学校や園児達の遠足にご利用頂いています。晴れた日には「お化けカボチャ」の転がる前庭にシートを敷き、お弁当を食べながらの楽しそうな笑い声が事務所にも響いてきます。

最後に、改修工事により長らく使用禁止となっていた公園トイレが、一部を除き10月下旬に開放となりました(BumB 前、BBQ場前)。新しくなったトイレは、誰でもトイレや災害時にも利用できる防災トイレも兼ね備えています。夢の島公園は少しずつ生まれ変わっています。まだ各所にて工事によるご不便をお掛けいたします。ご了承頂きますよう宜しくお願いいたします。 館長 高橋 将



季節イベントの紹介 (イベント・展示担当: 関)

平成 30 年 11 月 19 日に夢の島熱帯植物館は開館 30 年を迎えます。企画展はずばり「30 周年特別企画展」。東京の亜熱帯小笠原諸島をクローズアップします。企画展とともに温室の小笠原固有種の植物もお楽しみください。他にもイベント盛り沢山です。秋深まる1日を夢の島熱帯植物館でお楽しみください。

【11月の企画展】30周年特別企画展

「東京にもある亜熱帯の世界～小笠原諸島展～」&「水草水槽展」(11/6～11/25)

《関連イベント》「開館記念オリジナルカレンダープレゼント」(11/17)

《季節イベント》「子どもしぜん科学大賞発表会&表彰式」(11/10)

「ウィークエンドコンサート」(11/3,17) 「森の学校」予約制(11/10)

「ハーブの学校」予約制(11/4) 「芋ほり大会」予約制(11/11)

「空中散歩体験」予約制(11/18) 「染め物教室」予約制(11/25)

★詳しくはイベントチラシで。または夢の島熱帯植物館にお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介 (植物館植栽担当)

現在エントランスに展示しているのは、9月11日に咲いた花が実となり、見ごろを迎えているドラゴンフルーツです。

原産地はメキシコや中南米で、現地では岩や樹木などに長い不定根を出して這い登って生長し、時には10メートル以上にも達するのだそうです。

花は、同じサボテン科のゲッカビジンと同じように、夜に咲き翌朝にはしぼんでしまいます。大きさは直径30センチくらいにまでなることもあります。主にスズメガを呼び寄せる虫媒花で、夜でも目立つように白く香りを放っています。

果実は、長楕円形で直径10～12センチ、全体は赤色に熟し、緑色の突起がついた鱗片ができます。果肉は白色、中に黒くて細かい種子が多くあります。この種子ごと生で食べますが、キウイフルーツを食べたときと同じような食感がします。

日本では1995～6年頃から沖縄などで栽培が始まりました。現在では品種改良が進んで多くの品種が生み出されています。



◀ドラゴンフルーツの花 (サボテン科)



実 ▶

今月の花と果実



▲ハハジマトペラ



▲シャリンバイ



▲ムニンアオガンピ

♪この時期のお花たち♪

30周年を迎える大温室。樹冠は高く、その木漏れ日の下で独特の植生が営まれています。小笠原の植物達は環境条件の違うなか健やかに育ち、現地とは違った表情を見せています。

企画展でも固有種を展示します。植物を通じて自然の一端に触れて下さい。11/1～11/30 コーヒー・紅茶一杯無料 【サービス券】団体不可

予告：次回は11/25の発行予定です。